

### 3. 地点別渋滞発生の変化

#### 1) 現在の渋滞発生箇所

国道 19 号の渋滞箇所は、国土交通省飯田国道事務所の調査によれば、南木曾町の吾妻交差点、および旧山口村の弥栄橋交差点であり、スキーシーズンを中心に夕方の渋滞長はともに中津川方面 5km～6km である。また、それぞれの渋滞箇所を通過するには、15～25 分かかる場合があり、渋滞による時間損失額は 1 日当たり約 780 万円にのぼる。



資料：国土交通省飯田国道事務所

図 3-1 渋滞発生箇所

表 3-1 渋滞による時間損失額

	渋滞台数(台)			時間価値原単位 (円/台・分)	損失額(千円)		
	吾妻	弥栄橋	計		吾妻	弥栄橋	計
乗用車	3,035	3,615	6,650	63	2,645	3,236	5,881
小型貨物車	99	206	305	57	77	163	240
バス	27	47	74	520	236	300	536
普通貨物車	377	520	897	87	484	700	1,184
計	3,538	4,388	7,926		3,442	4,399	7,841

資料：国土交通省飯田国道事務所、調査日：平成 17 年 2 月 13 日(日)  
注)時間価値原単位は、平成 15 年度道路政策評価通達集の値を用いた。

2) 伊那木曾連絡道路開通後の国道 19 号の迂回路としての情報提供

伊那木曾連絡道路開通後、国道 19 号において渋滞が発生した場合、その渋滞情報を道路情報案内板等を用いて事前にドライバーに知らせることにより、ドライバーは伊那木曾連絡道路を迂回路として利用するようになると考えられる。



図 3-2 伊那木曾連絡道路開通後の渋滞状況